

# た か は ぎ

2017.12  
No.146

## 議会だより



### 平成29年第1回臨時会

会期 7月7日～7月13日

議案に対する質疑……………	2
討論……………	3

### 平成29年第3回定例会

会期 9月29日～10月19日

議案に対する質疑……………	5
委員会審査報告……………	6
討論……………	7
市政に対する一般質問……………	8

新庁舎議場

平成 29 年第 1 回臨時会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第10号	専決処分承認を求めることについて（平成29年度高萩市一般会計補正予算（第3号））	松岡中学校屋内消火栓ポンプユニット交換工事に関し緊急に執行するため補正予算を組んだ報告。	原案承認
議案第38号	高萩市宿泊施設の誘致に関する条例の制定について	中心市街地の活性化、宿泊施設の充実及び雇用機会の拡大を図るため、宿泊施設の誘致を推進するもの。	原案可決

議案質疑

議案第38号 高萩市宿泊施設の誘致に関する条例の制定について

八木 陽子 議員

質問 ルートインホテル誘致について、市の免税措置や雇用支援、建設費負担に血税が使われるということですが、市民に対する利益還元がどのくらいあるのか、また既存のホテルへの影響について御説明をいただきたい。

企画部長 メリットについては、ホテルを防災上の避難拠点とするための防災協定、また地域振興を、観光振興等を図るための地域振興の協定を結ぶというようなことも期待でき、いろいろと広がっていくものと考えられます。

経済波及効果はホテル関係者に確認したところ、宿泊者は飲食等で1人当たり4千円程度消費するとのことであり、年間では1億8千万円程度の市内消費が生まれるものと考えます。

また、宿泊客は現状で市外に流出している近隣地域からの新たな客の確保、新たな観光客の受け入れを考えており、既存の宿泊施設とは連携協力をしていきたいと考えております。

大森 要二 議員

質問 ホテル誘致は、当然市長が中心で進めてきた計画であると思えますので、土地、地権者及びホテル側との交渉経過について、時系列で市長に伺います。

固定資産税や都市計画税の免除、建設費の補助、市民の雇用に対する助成などで総額が1億円を超えることから、他市町村の奨励措置との比較検討はどのように行われているのか。高萩市は、これから新庁舎や今後老朽化に伴う施設の管理経費が、いや応なくのしかかっています。

市長 平成27年2月に宿泊施設誘致の話があり、地権者との話し合いを重ねた上で、企業との交渉を2年4か月にわたって行ってきました。その結果、今回の宿泊施設の誘致の可能性が見えて来たところでもあります。

このことから、この誘致を早期に実現させ、その支援策を取り入れた宿泊施設の誘致に関する条例を今回提案させていただいたところでございます。



今川 敏宏 議員

質問 条例制定の目的として、高萩市の現状と、なぜ宿泊施設が必要なのか、第5次高萩市総合計画との整合性の説明を求める。

企画部長 現在の市内の宿泊施設は11施設163室です。今後、全国的には外国人観光客の大幅な増加、高齢者の国内旅行の需要増、本市においては、ビジネス客や観光客に加え、中戸川スカウトフィールド、来年以降の茨城国体、第2回県北芸術祭、インターハイなど、多くの来客が見込まれ、早急に一定規模の宿泊施設が必要と考えています。第5次総合計画では、誘致による企業立地で雇用、税収拡大の推進を掲げています。

質問 宿泊施設立地企業に対する固定資産税免除、建設費補助、雇用助成ができる法的根拠は何か。

企画部長 課税免除は地方税法第6条第1項で、補助金交付は地方自治法第232条の2で、公益上必要がある場合に認めています。



討 論

議案第38号 高萩市宿泊施設の誘致に関する条例の制定について

反対討論 渡辺 悦夫 議員

私は、高萩市宿泊施設の誘致に関する条例案について、反対の立場から討論いたします。

条例の制定につきましては、常に市民のためのものであり、公平性、平等性、透明性が伴っていないければならないと考えます。

しかしながら、建設補助に4千万、固定資産税等の免除が年間5百万掛けることの10年間で5千万、これだけでも合計9千万円にも上り、10年以上営業するものとされていきますが、免除期間の10年が過ぎた後、例えば撤退、転売ということがあっても、何ら規制なしと、条例上は読み取れません。

現在、高萩市は茨城県内の財政力指数番付でも44市町村中31位で、極めて低い状況であります。私は、優先的にやるべき事業はほかにも、例えば小中学校のエアコン設置や巡回バスの運行とか、道路の白線整備とか、もっともっとやることはあると考えております。

以上のことから、今回の条例制定につきましては反対いたします。

賛成討論 飯田 毅昭 議員

町の活性化の一つの要因は経済効果であろうと考える。まとまった数のグループの団体の受け入れが可能となれば、滞在型観光の取り組みが従来以上のチャンスが広がり、今後の観光施策面で選択肢が広がると考える。又、一定規模の宿泊施設が誘致されれば、市外からの流入人口が増え、それに伴い新規店舗等の立地なども期待され、市民にとっても市街地の活性化は大きなメリットとなると考える。

市街地活性化は容易ではなく、その状況を打破していくためには行政的な施策も必要という事も従前より質問等させて頂いた。トップセールスでの努力もあり、まちの活性化につながる大きな一歩となり得ると信じ、賛成討論とします。

反対討論 大森 要二 議員

この宿泊施設が誘致でなく、進出なら、何ら問題もなく民間同士の問題であり、まちの活性化につながるものと考えますが、誘致となるとここに問題が生じます。

市では誘致のための措置として、まず1、固定資産税などの課税免除、家屋及び償却資産に係る固定資産税及び都市計画税を、10年度のを免除、推定では5千万円。2、助成金など建設費補助金4千万円、雇用助成金3千万円、合計1億2千万円を高萩市が補助する

という形になります。

今の高萩市の財政状況から見たら、大変な負担となり、市内にある既存の宿泊施設との平等性、透明性に欠け、10年間の間には撤退、廃墟となる既存の宿泊施設が数多く表れるものと考えます。これはまちの活性化どころではなく、ますます衰退につながるものと考えられます。

高萩市民のためにもう一度お考えになり、私の反対討論とします。



花貫渓谷（汐見滝吊り橋）

平成 29 年第 3 回定例会に提出された議案等

事件番号	件 名	内 容	審議結果
議案第39号	高萩市教育委員会の委員の任命について	鈴木智恵子氏（上君田）が任期満了となるため、再任について同意を求めるもの。	原案同意
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度高萩市一般会計補正予算（第4号））	海区漁業調整委員会補欠選挙補欠選挙経費として、96万8千円を増額したことを報告するもの。	—
報告第12号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率 12.5% 将来負担比率 78.1%	—

平成 29 年第 3 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第13号	高萩市資金不足比率について	水道事業と工業用水道事業について資金不足はなかった。	—
議案第40号	高萩市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について	農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員等の定数を定めるもの。	原案可決
議案第41号	高萩市個人情報保護条例の一部改正について	行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴うもの。	原案可決
議案第42号	高萩市企業誘致審議会条例の一部改正について	商業地域への宿泊施設誘致を審議対象に加えるもの。	原案可決
議案第43号	高萩市営住宅管理条例の一部改正について	公営住宅法施行令の一部改正に伴うもの。	原案可決
議案第44号	平成 29 年度高萩市一般会計補正予算（第 5 号）	歳入歳出それぞれに 1 億 1,659 万 8 千円を追加するもの。内容は明るい街並み推進経費（防犯灯 LED 化）等	原案可決
議案第45号	平成 29 年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	歳入歳出それぞれに 7 万 4 千円を減額するもの。人事異動等に伴う人件費の調整。	原案可決
議案第46号	平成 29 年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	歳入歳出それぞれに 7,244 万 8 千円を追加するもの。支払基金過年度分返還金等。	原案可決
議案第47号	平成 29 年度高萩市水道事業会計補正予算（第 1 号）	収益的支出において、1,030 万円を減額するもの。人事異動等に伴う人件費の調整等。	原案可決
議案第48号	平成 29 年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）	収益的支出において、171 万 3 千円を増額するもの。人事異動等に伴う人件費の調整。	原案可決
議案第49号	平成 29 年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入 135 億 4,557 万 3,681 円 歳出 127 億 9,298 万 7,020 円	原案可決
議案第50号	平成 29 年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 36 億 6,062 万 7,612 円 歳出 36 億 5,910 万 3,740 円	原案可決
議案第51号	平成 29 年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 3 億 1,604 万 8,290 円 歳出 3 億 1,232 万 1,370 円	原案可決
議案第52号	平成 29 年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 26 億 8,859 万 4,603 円 歳出 26 億 980 万 8,599 円	原案可決
議案第53号	平成 29 年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 1,484 万 7,018 円 歳出 790 万 2,874 円	原案可決
議案第54号	平成 29 年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入 7 億 3,242 万 5,599 円、収益的支出 5 億 7,695 万 8,259 円、資本的収入 1 億 5,697 万 9,120 円、資本的支出 4 億 4,217 万 9,259 円	原案可決
議案第55号	平成 26 年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入 2 億 848 万 1,543 円、収益的支出 1 億 5,259 万 5,620 円、資本的収入 1,160 万円、資本的支出 7,757 万 1,364 円	原案可決
議案第56号	高萩市水道事業会計利益の処分について	平成 28 年度末未処分利益剰余金残高 3 億 1,659 万 4,962 円のうち 1 億 1 千万円を減債積立金に積立て、1 億 9,610 万 7,721 円を自己資本金へ組み入れる。	原案可決
議案第57号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	平成 28 年度末未処分利益剰余金残高 1 億 2,848 万 4,103 円のうち 3 千万円を減債積立金に積立て、4 千万円を建設改良積立金に積立て 4,102 万 2,517 円を自己資本へ組み入れる。	原案可決
議案第58号	平成 29 年度高萩市一般会計補正予算（第 6 号）	歳入歳出それぞれに 1,940 万 7 千円を追加するもの。衆議院議員総選挙経費。	原案可決
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ 5 人以内が参加するもの	原案可決
意見書案第 1 号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	教育予算の拡充を求める意見書を政府等に提出するもの	原案決議

議案質疑

議案第42号 高萩市企業誘致審議会条例の一部改正について

平 正三 議員

質問 商業地域に宿泊施設誘致の適否を判断して市長に答申する改正であるが、商業地域に100室以上のビジネスホテルを誘致する公共用地はあるのか。

企画部長 商業地域内の公共用地について、平置き駐車場を備えて、100室以上規模のホテルが建てられる市有地はございません。

質問 高萩市と丸平商事、ホテルルートインの三者合意で、イトーヨーカドー跡地に150室、7階建、30年間の借地契約でビジネスホテル建設が決まっている。民間同士の土地取引に行政が介入できない。瑕疵ある議案である。

企画部長 指定事業者には、中心市街地の活性化と商業、観光振興、災害対策などの市の施策に協力するよう努めることなどを責務として義務づけをしております。

このことから、誘致について審議会という場で厳正に、また市民に對しても透明性を確保しながら御審議いただきたいと考え、審議会条例の一部改正を提案いたしました。

大森 要二 議員

質問 6月の全員協議会での説明によれば、市長とルートインと地権者の間で既にホテル出店の合意ができたと考えられます。審議会は市長の諮問に応じ、誘致する宿泊施設について調査し、企業の適否について答申するとなつていますが、市長の熱い熱意に応じて出店するルートインを、改めて審議会で審議する必要はあるのでしょうか。



企画部長 企業から指定申請が上がって、審議するのは執行部内部だけで審議しては厳正に審議できるか、また市民に対して透明性のある審議をするという観点から、企業誘致審議会条例の一部を改正し、審議会で御検討いただきます。

質問 審議会では、宿泊業者を調査審議するに当たって、規則で定められた事業概要説明書、建設工事計画書、工事請負契約書の写し

も審査の資料として審議会に提出するのででしょうか。  
企画部長 基本的には審議会にもこの資料をお出しする考えです。

議案第44号 平成29年度高萩市一般会計補正予算(第5号)

吉川 道隆 議員

質問 健康マイレージについて①参加賞の景品は具体的に何か、数量はいくつか。

②全市民対象ということは、幼児健診で乳幼児もポイントがもらえるのか。幼児の健診でさえ100%ではないということか。成人の健康診断など受診率が悪いらしいが、幼児の受診率はどうか。  
③高萩市はポイント応募のハードルが低すぎるのではないか。後から高くなると参加者が減るのでは。健康福祉部長

- ①参加賞はウエットティッシュ5千名分。景品は電動アシストつき自転車、空気清浄機、デイズニッチケット、体組成計、特産品詰め合わせ、クオカード等。139名分、賞品総額8万2千円の予定。
- ②幼児健診も親子で1ポイントずつ。1歳6か月児健康診査は94・6%、2歳児歯科健康診査は93・3%、3歳児健康診査は95・2%、ぜひ100%にしたい。
- ③全市民を対象として親子での参

加もできるようにした。試行期間中、応募者数や応募者の意見等の分析結果を踏まえ、本格実施に向けて、方法を検討したい。

今川 敏宏 議員

質問 観光振興計画策定経費17万9千円は、計画策定委員会委員報酬費ということだが、目的と内容、委員にはどういう方を選任するのか、委員会開催、計画策定のスケジュールを伺う。

産業建設部長 来年度、観光振興計画を策定する上で、様々な立場からご意見をいただき、計画に反映することで、計画の実段階で相互連携を確実にするために設置する委員会の開催に要する経費で、委員数は8名、委員会開催2回分の費用です。

観光振興計画は本市の課題である人口減少問題や地域経済の低迷などへの対策のひとつとして、交流人口の拡大や地域経済活性化と、観光産業の他、幅広い産業への雇用創出効果も期待できると考えています。





# 委員会審査報告

## 道の駅に関する特別委員会

10月16日第5回道の駅に関する特別委員会を開催しました。

今回の特別委員会では、地方創生課から、高萩市「道の駅」基本計画策定スケジュール及び、現在の進捗状況について、基本計画策定の委託業者をプロポーザル方式により募集。参加申し込みは5社で、各プレゼンテーションによって1社を決定し9月に委託契約を締結。これから実施する市民、農業者、商業者を対象にアンケートを作成、その内容の説明がありました。各委員からは、説明についての質問や意見がありました。



花貫物産センター

## 議会改革特別委員会

10月17日第6回議会改革特別委員会を開催しました。

議案に対する賛否の公表について、議会傍聴規則について等を検討し、次回政務活動費の取扱いについて議題とすることとしました。

## 討論

議案第42号 高萩市企業誘致審議会条例の一部改正について

### 反対討論 平 正三 議員

議案第42号高萩市企業誘致審議会条例の一部改正については、新たに商業地域に宿泊施設の誘致を審議の対象に加える内容となっている。

高萩市企業誘致審議会条例は、公共用地に進出する企業の是非を審議するものであり、条例改正はこれに民間の土地取引も審議の対象に拡大するものである。そのためすでに丸平商事所有の土地に進出が決まっているホテルルートインに対して、行政が進出の是非を審議することになる。

高萩市には民有地に特定の企業を誘致する権限はなく、ましてや、民有地に進出する企業の是非を審議する権限もなく、行政が民有地に進出する企業に対して、どの様な判断を決定しても、一切の拘束力がありません。

このように拘束力のない改正条例改正は瑕疵ある議案であり、反対するものである。

### 反対討論 寺岡七郎 議員

議案第42号高萩市企業誘致審議会条例の一部改正について、私は駅前へのビジネスホテルの誘致には反対ではありませんが、市民の税金である1億2千万円の支援金を出すのは反対であります。

### ① 税の免除5千万円について

租税の基本原則は公平の原則にある特定の企業に対して、課税しないとする事は明らかに公平の原則に反する。

### ② 4千万円の補助金について

地方自治法では公益上必要があれば補助できるが、市長や議会の自由裁量は認めてません。ホテル業が公益事業でなく収益事業であるのは議論の余地がありません。

### ③ 3千万円の助成金について

資本金694億円の大手企業に対し地元雇用従業員の賃金分を税金で負担するのは、市民は納得できないと思います。県内の、石岡、土浦、古河でも同じホテルの計画はありますが、いずれの自治体も税の免除、建設補助、助成金はありません。今回のビジネスホテルの誘致に、本来市民の為に使うべき公費である1億2千万円を特定企業の収益になる支援金として出すことは法にかなわず、理にかなわず、情にもかなわないこととなります。

## 請願・陳情の審議結果



件名	結果
国の責任で「若い人も高齢者も安心できる」年金制度を求める陳情	継続
教育予算の拡充を求める請願	採択
高萩市消防団長任用に関する100条調査特別委員会の設置陳情	不採択



渡辺悦夫 議員

### 駅前ルートインホテル 進出について

質問 前の議会で宿泊施設の誘致に関する条例が制定されました。私は、この条例については納得してはいません。なぜなら、民間同士の契約に市が多なる税金を投入し誘致を促進するからです。

6月24日付の茨城新聞では、ホテル進出、土地所有者と概ね合意。7月8日付茨城新聞では、ホテルは7階建てで、客室150床。7月14日付の読売新聞では、市は茨城国体のリハーサル大会前の2018年秋までの完成を望んでいる。一方、9月中旬に発行されましたチラシ等を見ますとルートインでは現在検討中であるとのこと。新聞記事とはかなりの開きがあるように見受けられます。多くの市民の皆様から、どうなっているのかと疑問の声を聞きますので、市長にお伺いします。

市長 駅前の土地所有者とルートインとの間でホテル進出について概ね合意したことから、その後、契約締結に向けて細部の調整が行われているところと聞いています。今後は指定の申請がなされれば、

審議を進めてまいります。

質問 ホテルの業者から、今後、道路改良等、例えば一方通行道路を相互通行にしたいとかが要望が出た場合、市としては対応するつもりはあるのか伺う。

企画部長 事業の計画なども踏まえて、この道路だけではなく、周辺の交通網について協議を進めて、改善できるものについては、よりよい方向に改善していきたいと考えております。



駅前ヨーカドー跡地

### その他の質問

○国民健康保険の茨城県統一について

○市内小中学校にエアコン設置について



飯田毅昭 議員

### 県と市町村における今後の連携について

質問 市長が就任されてからを振り返りますと、東日本大震災からの復旧・復興、道路の整備、少子化、人口減少対策をはじめ、子供の安全確保、子育て環境の整備、医療福祉の充実、定住人口・雇用の確保、交流人口の拡大、行財政改革など各種施策に積極的に取り組んでおり、着実にその成果を上げてきていると評価しております。

引き続き、これらの施策を継続するとともに、県との連携強化による新たな施策にもぜひ取り組んでいただき、本市の発展につなげていただきたいと思います。そこで市長は、これまでの実績、成果を御自身でどのように判断されているか。さらには、県と連携した本市における今後の具体的な方向性についてお伺いします。

市長 今後も人口減少対策を進め、減少を緩やかにし、高萩市が活力ある街として持続可能なまちづくりを行っていく必要があると考えます。更に本県においては、平成31年に国体が開催され、併せて2回目の県北芸術祭、32年にはイン

ターハイの開催が決定しております。このような機会に高萩市の知名度を高め交流人口の確保に努めていき、これまでの施策との相乗効果により人口減少社会に対応できるまちづくりが望めるのではと考えております。

今後とも市民の皆様方のご理解ご協力を得て「まちの安全、ひとの安心、しごとの活力快適生活都市高萩」の具現化に向け、引き続き市政運営を担っていきたいと考えております。





平 正二 議員

### 一般廃棄物処理基本計画について

質問 広域化の方針にどのような見通しを持っているのか。また、ごみの資源化率を上げる具体的計画と資源物回収財源を活用して、分別推進員に対する報償費の復活についての考えを伺う。

市長 広域化など、あらゆる可能性を検討していきたい。  
市民生活部長 資源物の店頭回収など、資源化率の向上を図っていききたい。ごみ分別推進員やごみ集積所責任者の報奨金は、今後の課題として検討していきたい。

質問 広域化の見通しは全くなく、生ごみの堆肥化処理等による単独処理を考えるべきである。ごみ資源化率を上げるためプラスチック類の分別収集を行うべきである。市民生活部長 基本的には広域化を主眼として、その可能性についても検討していきたい。ごみの資源化・再資源化について、調査・研究していきたい。

### 緊急告知FMラジオについて

質問 市長は高萩FMについてどう

のように認識し、山間部などの難聴対策及び高萩FMの設備維持管理・更新に行政の補助が必要と思うがどのように考えているのか。  
市長 非常時においては災害発生後の情報伝達手段として大変有効と考えている。山間部の難聴対策は一中継局あたり1500万円の費用や、新たな免許取得が必要となり大変難しい。インターネットを利用したサイマルラジオ放送により世界中で聴くことができるので、周知に努めていきたい。  
企画部長 放送機材の更新の必要性について、今後調査・検討していきたい。



たかはぎFM放送局

### その他の質問

○市道1403号線（浜野町踏切～高萩駅東口）の道路改修について



八木陽子 議員

### 買い物困窮者対策について

質問 高萩市の高齢化率は32.9%と国県より高い状況にあります。議会で買い物困窮者対策の陳情が採択されましたが、その後対策としてのデマンドタクシーの進捗状況をお聞きます。

企画部長 公共交通網形成計画に基づき、平成29年度から33年度の5か年計画で、君田地区などの山間部においてデマンド型乗り合いタクシーの運行実証実験に取り組み、関係機関との調整を進め、出来るだけ早く試行運行が開始できるように努めます。



デマンドタクシー

### 甲状腺エコー検査について

質問 甲状腺検査の陳情も先の議会にて採択されましたが、それを受けて市長の考えを再度伺います。  
市長 国の責任において実施すべきと考え、国に要望するとともに他の市町村の動向を注視し再検査の実施について検討してまいります。

質問 宇都宮大学のアンケートで、放射線による何らかの健康不安を持つている方が2020世帯中83.6%いたそうですが、市の相談窓口に来た方は高萩市同様なかったそうです。市民の本音を知ったうえで今後の対策に生かしていただきたい。

市長 周囲からの視線を気にして窓口相談ができないということがもしあるとすれば、改善していきたいと思えます。甲状腺についての不安の解消には、正確な情報を共有しながら話し合い理解を深めるといいうリスクコミュニケーションが非常に重要になりますので、今後御相談があればきちんとした対応をしていきたいと思えます。

### その他の質問

○各保険費用削減対策



我妻康伸 議員

### 安心安全なまちづくりに ついて

質問 避難行動要支援者名簿の作成は、現在どうなっているのか伺いたい。

市民生活部長 平成27年度から名簿を作成し、毎年更新しております。現在1420人が名簿に掲載されており、災害時において地域や避難支援者等関係者がスムーズに避難支援を行うためには、平常時から支援を必要とする人の情報を共有する必要があります。そのため避難行動要支援者の個別の状況、避難支援者等をまとめた避難支援プランの作成が重要となります。現在避難支援プランを作成している人は579名であります。

### 高萩市耐震改修促進計画 について

質問 耐震改修の支援事業と住宅リフォーム助成制度との連携はできないかお聞きします。

産業建設部長 耐震補強工事補助金上限30万円と、住宅リフォーム補助金上限10万円は、工事をして

いただく目的も場所も異なることから、それぞれに申請手続きなどが必要となりますが、併用することは可能となっております。両工事の補助金を同時に利用していただくことで、住宅の耐震化を図るきっかけにもなり、個人負担の軽減も図られ改修がしやすくなると思います。

### 防災訓練について

質問 訓練内容と参加者数を伺います。

市民生活部長 東小学校他14会場で2400名の参加、台風接近に伴い大雨特別警報並びに洪水警報が発表されたという災害想定で行いました。



防災訓練



大森要二 議員

### 宿泊施設の誘致に関する 条例について

質問 この条例は、新規に建設される100室以上の宿泊施設には建設費補助として5%、上限4千万円、固定資産税、都市計画税は10年間免除、試算で約5千万円、雇用補助として1人15万円の援助、上限3百万円とし、10年間継続することで3千万円となり、合計1億2千万円もの補助が予定されていることとなります。

これだけの優遇措置を新規建設される宿泊施設にだけ市民の税金から支出することは、既存の施設を運営する業者との不均衡をもたらすことは明らかです。不公正な優遇措置を新規に建設される大規模な宿泊施設に限って適用することとは、著しく相当性を欠く措置と言わざるを得ません。

進出を予定しているルートインは、資本金649億円、従業員数1万2790名、全国で274店舗を有しています。このような大企業のみを優遇し、地元の中小零細企業を冷遇する中で、宿泊業者間で極めて不公正な競争を強いるものであり独禁法違反であると考

えますが、説明願います。



企画部長 市としては、他市町村の宿泊施設誘致条例の調査を行うとともに、財政状況などを含め総合的に検討を行いました。

独禁法の関係につきましては、弁護士に照会をかけてございます。弁護士からは、今回の補助制度については独禁法違反にはならないという御回答をいただいております。また、自治体補助金事業を規制対象とはしていないということも御回答いただいております。





菊地正芳 議員

防災行政について

質問 平成29年3月の答弁で「家族防災会議の日を制定したからと言って話し合いの場を持つことが担保されるわけではない」と表現したが、これは市民を信頼してないと言つ事である。この担保という言葉を改めるべきと思つが伺つ。市民生活部長 平成29年3月の定例会において発言したときの表現は、「必ずしも行われるものではない」との表現のほうが適切であったかと考えております。



市政運営について

質問 本年7月に市内に出回ったチラシの中の「入学児童へのランドセルのプレゼント予算を出し渋る市」と言つ記事について伺つ。

教育部長 予算を削減する事も、他団体に支援を依頼した事も一度もありません。今後ともランドセルの配布を実施して参ります。

質問 事実はないという事で、この記事は虚偽を書いているという事でよろしいか。

教育部長 チラシに掲載されてるような事実はありません。

質問 この記事によつて市民が惑わされ、不安に陥る事があれば、それはデマと言つてもおかしくない。デマとは、とつてもなく、とんでもない事件になり得る。デマというものは、放つておいてはだめだと言つ事です。騙されたのは市民です。市民を守る立場である市長が自ら、厳然たる態度をこの場で示すべきだと思つが伺つ。

市長 チラシの内容は、事実無根の内容が記載されているものであり、この内容のチラシの配布により市民に不安を与えることはまことに遺憾であると思つております。



©KOMETO



坪和久男 議員

観光資源(歴史資源)の有効活用について

質問 観光資源である歴史資源の活用について、特に松岡地区の歴史資源についてはどのように考えているのか、市長に伺います。

市長 松岡地区を初め市内の歴史的な文化資源をいかに観光資源に結び付けるのか、また、観光開発をすることが良いのかどうかを含めて検討する必要があると考えております。

質問 竜子山城跡の管理について、現在は雑草の伸び過ぎや倒木があります。民地と市有地があり全体的な管理は難しいが、市有地については適切な管理をして頂きたい。

教育部長 市有地部分につきましては文化財の保護に配慮し、同時に来訪者の安全を確保するため、山へ入るための道や荒れている部分について、適正な管理の実施を検討してまいりたいと思ひます。

質問 竜子山城跡の案内板設置について、本丸復元は費用的に困難としても、案内標識や説明パネルは早目に設置して頂きたい。

教育部長 市有地内において対応が可能と思われまますので、設置場

所、説明内容等について検討してまいりたいと思ひます。



観光客誘致活動の推進について

質問 自転車活用推進法の基本方針にある観光旅客の来訪の促進その他の地域活性化の支援として、駅前を拠点としたレンタサイクルの導入について、市長に伺います。

市長 市を訪れる観光客へのサービスツールとして有効であると考えておりますが、他市町村での取り組みなどを参考にしながら、導入の可能性について検討をしてまいります。



レンタサイクル rental bicycle





大足光司 議員

### 人口減少における まちづくりについて

**質問** 本市の人口減少は予想を上回る速度で進行し歯止めがかからない状況にあることから、市の考えや対策等について聞きたい。

**市長** 人口減少の要因を分析すると、自然減については少子高齢化の進行によるものと考える。一方、社会減については、進学や就職を機に若年層の転出が続いていることが主な要因である。対応策については、子育て等、様々な支援策を行い少子化対策に取り組んでいる。社会減に対しては、定住移住人口の確保に係る事業を推進している。具体的に、定住推進をするため、住宅取得を支援する三世帯同居等世帯、多子世帯住宅取得支援補助事業や本市への若い世代のUターンを推進するための奨学金返還支援補助に取り組んでいる。特に奨学金返還支援事業については、他の年代より人口減少が進んでいる若い世代へのUターン促進に有効であると考えている。一度は高萩から離れた若い世代を就職や転職を機に生活の拠点を高萩市へ呼び戻すことで、本市への定住増に

繋げたいと考える。さらに移住検討者への情報発信やお試し居住入居者の募集等、定住や移住に特化した活動を行う定住移住コンシェルジュを地域おこし協力隊に委嘱し、本市移住に向けた取り組みを進めている。今後も定住移住人口の確保と総合的な少子化対策を最優先事業として進め、人口減少を抑制するため対策を講じて参りたい。



高萩市定住・移住推進ホームページより



吉川道隆 議員

### 図書館設備について

**質問** 最近の新しい図書館は、飲食スペースや一人ひとりの学習スペースがあり、公衆LANの利用もできるが、高萩市の図書館には飲食スペースすらない。確認したところ、最近は晴れた日には中庭のテーブルで、雨の日には正午から午後一時半までの間だけ、二階のフロアの一部を飲食可能としている。しかし、時間限定ではなく、好きな時間に利用できる飲食スペースを検討していただきたい。中庭のベンチやテントを外して、市役所仮設庁舎で解体予定のプレハブを再利用して、飲食スペースをつくることはできないか。



図書館の中庭

教育部長 構造や費用の検証など課題が多く、新たな飲食スペースの設置は困難。利用度の低い部屋を工夫して飲食スペースの拡大を検討したい。

**市長** 解体資材の再利用には多額の金額がかかるので、難しい。

**質問** 図書館内が無理なら、歩いて行ける範囲で、新庁舎に食事のできるカフェがあればよかった。飲食スペースがあっても、売店がない。売店の場所があっても販売する人がいない。事業者を早く探してもらいたいが、どうか。

**総務部長** 店の方式を検討し、実現できるように調整したい。



オープンしていない市役所売店

**質問** 図書館は通路やトイレが狭く、高齢者や障害者に対する配慮が足りない。企画も障害者向けの企画はないが、何か計画はあるか。

**教育部長** ハード面の計画はない。今後指摘・要望を踏まえ検討したい。ソフト面で工夫したい。



議場に設置した質問席・答弁席

「一般質問に  
「一問一答」方式を導入

今年、庁舎引っ越しの関係で、第3回定例会は9月29日から約1か月遅れて開催されました。新しい議場には、対面式の質問席と答弁席を設け、執行部との「一問一答」ができる配置としました。

この方式では、1回目の質問答弁は従来通り演壇から行い、2回目からは議員と執行部が対面式で議論します。持ち時間を原則1時間以内とし、3回までとしていた質問回数の制限は無くしました。

10月2日・3日の一般質問では、11名の質問者のうち、6名が「一問一答」方式で質問を行い、より活発な議論ができました。

また傍聴者からも、「やりとりがより聞きやすく、分かりやすかった」と好評でした。

委員会視察報告

◆ 議会運営委員会 ◆

8月23日～25日

○北海道河西郡芽室町

○北海道夕張郡栗山町

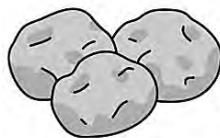
芽室町は「住民に開かれ、分かりやすく、行動する議会」を目指して「議会活性化計画」を策定しています。

今年度は、議会改革・活性化強化策として、

- ①議会政策形成サイクルの進化
- ②町民との意見交換会の深化と充実(多様な住民参加機会の創出)
- ③参考人制度・公聴会制度等の実践検討
- ④議員問討議(自由討議)の強化

を掲げ、さらなる活動の強化に取り組んでいます。

栗山町は、平成18年に全国初の議会基本条例を策定して以来、町民から「議会モニター」を設置、募集したり、有識者から政策づくりの助言をもらう「議会サポーター」制度などを取り入れ、意欲的に住民との関係を築いていました。



芽室町の特産品



栗山町の特産品

行事・活動報告

◆ 普通救命講習会 ◆

9月7日、仮設庁舎大会議室において、高萩消防署職員を講師に、12人の議員が普通救命講習を受講しました。胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの取り扱いなど、いざという時のために正しい知識を学びました。



◆ ひたちなか市議会傍聴 ◆

第3回定例会から導入する、「一問一答」方式の一般質問研修のため、9月12日、ひたちなか市議会を傍聴しました。

ひたちなか市議会では、すでに「一問一答」方式を実施しており、実際の流れや、やり取りを見学し参考にしました。



議会日誌

8月 22日 議会全員協議会  
26日 高萩市総合防災訓練

9月 13日 議会運営委員会  
20日 議会運営委員会  
21日 議会全員協議会  
27日 高萩・北茨城市工業用水道企業団定例会  
29日 第3回定例会

10月 19日 第3回定例会  
19日 議会広報委員会  
24日 高萩塙線整備促進のための高萩市・塙町両議会議員交流研修会  
25日 茨城県市議会議長会定例会  
31日 議会広報委員会

11月 6～7日 県市議会議長会 第1回議員研修会  
萩っ子議会  
11日 議会広報委員会  
14日 議会広報委員会  
17日 議会広報委員会  
21日 議会運営委員会  
22日 議会全員協議会  
27日 日立・高萩広域下水道組合定例会

市民の声

一般質問を傍聴して (高萩高等学校3年)

安良川 猿田 海斗さん

高萩市議会をはじめ傍聴して、とても身近な問題だと感じたのが、人口減少に対する市の考え方や対策だ。

議員さんは「進学を機に地元を離れる若者が多い」と言っていた。私はそれに加えてその進学先を卒業して地元に戻ろうとしても、地元には学んだことを生かせる仕事・職場などが少ないと思う。

自分はサービス関係の仕事につきたいと思っているが、高萩にはあまり多くないと感じている。先輩や友人なども市を出ていく人が多いのを

感じている。

これから市がどういう対策をとっていくのかとても気になる議会だった。

上手綱 山本 愛華さん

初めて議会を見学して、話し合いはこんな形で進められているんだなと思いました。また、話し合いの時間を計っているのに驚きました。

高萩市の人口についての議題は、私にも聞きやすく、とても真剣に聞くことができました。

また機会があれば聴きに行こうと思いました。



傍聴においでください

平成29年第4回定例会(12月)

- 1日(金) 本会議 議案上程
- 4日(月) 本会議 一般質問
- 5日(火) 本会議 一般質問
- 7日(木) 本会議 議案質疑
- 8日(金) 文教厚生委員会
- 11日(月) 総務産業委員会
- 12日(火) 道の駅に関する特別委員会
- 13日(水) 議会改革特別委員会
- 15日(金) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯タブレットは不可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会 特別委員会	ユーストリーム	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。○FM放送は、全てたかはぎFMです。

議会広報委員会

- 委員長 飯田 毅 昭
- 副委員長 我妻 康 伸
- 委員 八木 敏 宏
- 八木 悦 子
- 渡辺 陽 宏
- 坪和 久 夫
- 根本 茂

◎8月発行145号、永年勤続議員表彰の記事の中で、平正三議員の在職年数を40年と紹介しましたが、35年の誤りでした。訂正してお詫びいたします。



今年もまた寒い時節となりました。9月定例会は新庁舎完成に伴い通常日程を先送りし10月に開催となりました。新しい議場、質問方式に一問一答方式を導入しての初めての議会となり、新鮮な心地と緊張感が織りなす雰囲気も感じられた議会でした。復興7年目、いい意味での初心を期待してまいります。(今川敏宏記)